

かいほ ジャーナル



愛します! 守ります! 日本の海

Vol. 71

2017 SUMMER

海上保安の 最前線へ

特集
海上保安大学校

海上保安庁
JAPAN COAST GUARD



かいほ ジャーナル

C O N T E N T S



Vol. **71**
2017 SUMMER

PHOTO GRAVURE

- 1 第三管区巡視船艇・航空機展示総合訓練を実施
- 2 進む！女性リーダー、女性管理職登用！
- 2 海上保安国際協力推進官（4月新設）を初めて派遣
- 3 明神礁で変色水、西之島で新たな噴火を確認
～付近航行船舶に注意を呼びかけています～
- 3 海浜事故における安全対策を強化

[特集]

- 4 海上保安大学校

海上保安の最前線へ

TOPICS

- 10 呉 エトセトラ ～特集では伝えきれなかった呉をここで～
- 12 **NEWSFLASH** ニュースフラッシュ

裏表紙

INFORMATION

大切な命! 自分で守る
新設 管制課程学生採用試験



巡視船艇編隊航行訓練

5月20日、21日の両日、東京湾内において、第三管区海上保安本部所属巡視船艇・航空機を中心とした巡視船艇15隻・航空機4機による展示総合訓練を実施しました。



受閲巡視船に答礼を行う石井大臣

視閲官を務める石井国土交通大臣（20日）と根本国土交通大臣政務官（21日）や視閲船3隻の乗船者、のべ約4,300人の前で、巡視船艇編隊航行訓練、海難救助・海上防災訓練、テロ容疑船捕捉・制圧訓練、高速機動連携訓練などの各訓練を公開しました。

訓練を通じて、我が国周辺海域を取り巻く情勢やこれに伴う領海警備などの海上保安業務の重要性について、国民の皆様理解を深めていただくとともに、今後も海上保安体制の一層の強化に努めます。



乗船者を迎える海上保安庁音楽隊

総合訓練の様子



巡視船艇編隊航行訓練



海難救助・海上防災訓練（海難救助）



海難救助・海上防災訓練（海上防災）



テロ容疑船捕捉・制圧訓練



高速機動連携訓練



乗船者を見送るPL10「ぶこう」



中林海上保安部長



記者会見する第四管区女性職員

4月1日、串木野海上保安部において海上保安庁初の女性海上保安部長となる中林久子部長が、第四管区海上保安本部において女性初の本部警備救難部次長の松浦あずさ次長が就任しました。また、巡視艇の女性船長、女性機関長も複数管区で着任しました。

865人（平成29年4月1日現在）の女性職員が在籍する海上保安庁は、「海上保安庁女性職員活躍・ワークライフバランス推進本部」を設置し、女性職員の意見を踏まえ、女性職員に配慮した設備を備える巡視船艇等の整備、研修の実施、女性職員が活躍できる職場環境の整備等を進めてきました。

今後も全庁を挙げて女性職員が活躍できる職場作りに取り組んでいきます。



6月3日、フィリピン共和国において、巡視船えちご及びフィリピン沿岸警備隊巡視船艇による海賊対処訓練をはじめとした合同訓練を実施しました。

本訓練に併せて、JICAの枠組みで実施している「フィリピン沿岸警備隊海上法令執行実務能力強化プロジェクト」の一環として、ゴムボートの操船訓練を実施し、同訓練指導のため、今年4月に新設した海上保安国際協力推進官を初めて派遣しました。

今回の派遣では、フィリピン沿岸警備隊の担当者と緊密に連携し事前の調整を行うとともに、現地において訓練指導を実施し、フィリピン沿岸警備隊の海上保安能力向上及び相互信頼関係の構築に貢献することができました。

今回のような現場での活動を積み重ねることにより、我が国のみならず、アジア地域における海上法執行能力向上に取り組んでいきます。海上保安国際協力推進官の派遣により、アジア沿岸国等の他国海上保安機関との信頼関係の更なる深化及び技術指導等の支援に務めます。



明神礁付近の変色水



西之島の新たな噴火活動

明神礁で変色水、西之島で新たな噴火を確認
 ↳ 付近航行船舶に注意を呼びかけています

平成29年3月24日、当庁航空機が東京の南約400kmにある明神礁付近で変色水を確認しました。明神礁は昭和27年に大噴火しましたが、昭和63年を最後に変色水等は確認されていませんでした。

また、平成29年4月20日、当庁航空機が西之島の新たな噴火を確認しました。西之島では、平成27年12月以降噴火は確認されておらず、今回の噴火は約1年5ヶ月ぶりとなります。平成29年6月6日現在も噴石と噴煙を伴う噴火が断続的に発生しており、火山活動が活発な状態が続いています。

海上保安庁では、航行警報を発出し、明神礁及び西之島両海域付近を航行する船舶に対し注意を呼びかけるとともに、引き続き火山活動の推移を監視していきます。



(左) 海上保安庁 (右) 日本ライフセービング協会



海浜事故における安全対策を強化

3月15日、海上保安庁と日本ライフセービング協会との間で、海水浴場等における事故防止対策等に関する協定を締結しました。

本協定は、事故情報の共有、事故防止対策や安全啓発等の協力、事案発生時等の連携の3つを柱としたもので、本協定の締結により海上保安官とライフセーバーによる更なる連携を図り、海水浴場における人身事故の安全対策等をより一層推進していきます。



本科を卒業し専攻科に進んだ学生は約3ヶ月間、世界一周の遠洋航海実習を受ける。太平洋、パナマ運河、カリブ海、大西洋、地中海、スエズ運河、インド洋等を巡り、寄港地の関係機関や市民との交流を通じて国際感覚を養う。

将来のリーダー育成を担う

広島県呉市にある海上保安大学校は、将来海上保安庁を担う幹部候補生を育成する教育機関だ。全寮制により4年間、みっちり勉強と訓練に励んだ卒業生は、6ヶ月の専攻科、さらに3ヶ月の国際業務課程を経た後、初級幹部職員として巣立っていく。

教育方針は人格の陶冶とリーダーシップの涵養、高い教養と見識の修得、そして強靱な気力・体力の育成を3本柱とする。基礎科目から専門科目、そして訓練科目まで、この方針に見合ったカリキュラムが用意されているのは当然のことながら、将来のリーダーとして自発的に考え、行動することが常に求められる。教官による指導だけでなく、日々の寮生活を通じて上級生が下級生に指導を行い、指導する側もされる側も、共に日々成長を遂げている。

カリキュラムは1学年、2学年では一般教養を含めた基礎教育科目を中心に、学年が上がるにに合わせて海上保安業務に関する科目や船艇運航に関する科目など専門科目が比重を高めていくが、今年度からの試みとして、これまで3学年になってから実施していた乗船実習を1学年から実施するようになった。実際の乗船経験なしに船についての理解の少ないまま授業を受けるよりも、まずは乗船を体験させて船についての関心を高めさせ、その上でより深い理解に繋げようという試みだ。元々乗船実習が組まれていない2学年は除

特集 海上保安大学校

海上保安の 最前線へ

毎年、将来の幹部候補生を育成、輩出している海上保安大学校は現役の海上保安官を対象とした専門的な研修機関でもある。さらに一昨年、海上保安政策に関する修士レベルの教育を行う海上保安政策課程が新設された。そこには海上保安の最前線に向け、共に学び、次代を担う人々の姿があった。

取材・文/中島 敦 (オンライン)



「海上保安庁に対する国民の期待が高まっていることをひしひしと感じますし、そういった背景を受けて世のため、人のために役立ちたいという志を持つ学生が増えています」と平田校長。

**現役海上保安官を対象とした
研修機関として**

また、海上保安大学校は研修機関とし

き、3学年、4学年を通じて乗船実習に要する総時間は従来と変わらない。
3学年の乗船実習は北回りと南回りの2回に分けて実施される。例えば北海道や沖縄の国境に接する海域の情勢をつぶさに目の当たりにするという具合だ。4学年では一転、東京湾や名古屋港、瀬戸内海といった船舶が輻輳する海域で、より高い船舶航行技術を身につける。専攻科では総仕上げとして、世界を巡る遠洋航海実習が実施される。太平洋からパナマ運河、カリブ海、大西洋、地中海、スエズ運河、インド洋と巡る約3ヶ月の航海を通じて船舶運航の実技の習得はもちらんのこと、精神力、実践力、そして統率力や国際感覚を養うことを目的としている。

「父親の反対を押し切って海上保安官の道へ」

父もこの大学校出身です。転勤が多かったのですが、そういう環境の中でも2年周期で東京に帰ってきて一緒に暮らす父の姿がとても格好良く、幼い頃から漠然と海上保安官に憧れていました。映画「海猿」の影響もあって「うちの父は海上保安官です」と言うこと反応も大きく、それも憧れに繋がったんだと思います。自分は恥ずかしながら朝に弱いなど生活にルーズな面もあり、父には海上保安官になることを反対されていたのですが、それでも諦められず入学しました。

4学年になったところですが、これまでの学生生活では3学年での乗船実習がいちばん大きな経験です。辛かったという意味でも、楽しかったという意味でも。自分が成長したという実感を得ることができましたし、同期の大切さも痛感しました。

海上保安官の仕事は多岐に渡ります。今、気になっているのは尖閣なので、その最前線で働きたいという気持ちがありますし、それ以外にも色々なことを経験して知識・能力を身につけていきたい。この4年間で吸収できることは全力で吸収して、現場に出た時は即戦力として活躍したいと考えています。

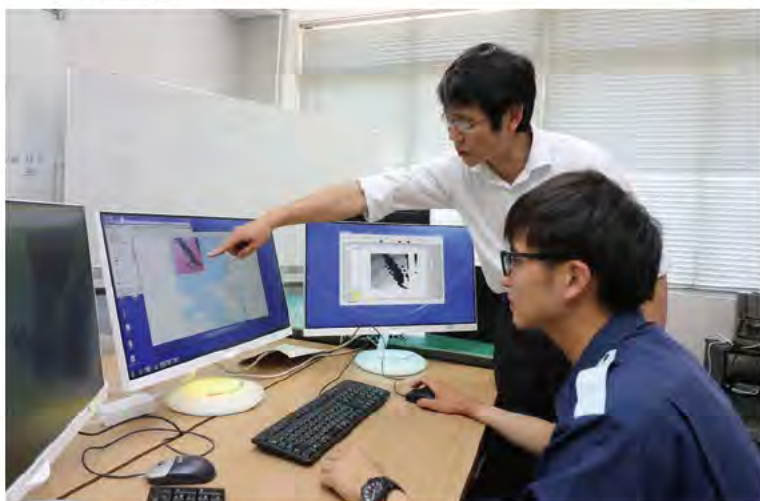


4学年 第1群(航海) **佐名 賢三** (23歳)

ての機能も担っている。現場で活躍する海上保安官を対象とした語学研修や潜水を教授している。これらの研修を受けた海上保安官が国際捜査官や潜水士となつて日々の業務を支えることになるのだ。

この潜水研修は限られた人数だけに門戸が開かれる狭き門だ。年に2回、各管区から選ばれた16名が、2ヶ月間の訓練の後に晴れて潜水士となり現場に帰っていく。訓練を担当するのは特殊救難隊の隊長など経験を積んだ潜水士だ。

研修内容は、水中で2分30秒の呼吸停止、両手に5kgの重りを持った状態で15分間の立ち泳ぎ(当然、重りを水に浸けてはならず、両手は塞がっており脚だけで泳ぐことになる)、10kgの重りを腹部に乗せての運搬訓練、潜水具を着用して飛び込み訓練など、全国から選出されてきた海上保安官をさらに絞り込むかのような厳しさだ。初めの1ヶ月間はプールで実習を重ね、1週間の慣れ実習を浅い水深で行った後に最後は水深35メートルまでの深さで応用的な対応訓練となる。



基礎教育科目から専門科目まで、文系理系を問わず多彩なカリキュラムを履修する。

強靱な気力と体力の錬成を担う体育部活動

海上保安大学校の教育方針の一つである「強靱な気力・体力の育成」の一端を担うのが体育部活動だ。今年新設された女子バレー部を含め、現在12部。学生は必ず体育部活動に参加しなければならない。

カッターや逮捕術などの部活動があるのも保安大学校の特徴の一つ。中でもカッター部は昨年、男女共に全国大会を制覇するほどの強豪校である。その強さについて木幡大路指導教官は「入学までにカッターを経験している者は少なく、入学した時点で差があるわけではありません。当校が強い理由として考えられるのは練習の密度ではないでしょうか。練習にかける時間もそうですし、全寮制故に部員同士が緊密な関係を築くことができます」と説明。男子キャプテンを務める河田雄吏学生(4学年)は「いい意味でチーム内の上下関係がなく、お互いに指摘しやすい環境にあります」、女子キャプテンの市川優希学生(4学年)は「メンバーは一人一人考え方や個性が異なりますが、それぞれに合った接し方で、それぞれの成長を促していくよう心掛けています」と語っている。



カッター部(上)
カッター部男子キャプテン
河田雄吏学生(右)



女子バレー、バスケット、逮捕術など12の部が活動している。



5kgの重りを両手に15分間の立ち泳ぎ。激しい息づかいがプールに響く。厳しい訓練で培われる精神力と体力、そして技術が人々の命を守っている。

厳しい訓練で培われた精神力と技術、そして体力が、救難の現場で人々の命を救っているのだ。

海上保安政策課程がスタート

初級幹部を輩出し、既に現場で活躍している海上保安官を対象に研修を行っている海上保安大学校に、一昨年新設されたのが海上保安政策課程だ。海上保安庁及びアジア諸国の海上保安機関の初級幹

部職員を対象とするこの課程は、高度な実務的・応用的知識、国際法・国際関係についての知識・事例研究、分析・提案能力、国際コミュニケーション能力を有する人材の育成と、国際的なネットワークの確立を目指している。

1年間のカリキュラムは、前期課程は東京の政策研究大学院大学にて実施され、海上保安大学校では後期課程を実施している。海上保安大学校での必須科目は救

難防災政策と海上警察政策。選択科目として国際比較刑事法、海洋環境科学、交通管理システム、情報管理システム、海洋システム工学が用意されており、また各人は修士論文に相当するポリシーペーパーの執筆が求められる。

今年度はインドネシア、マレーシア、フィリピン、そして日本の4カ国から参加しているが、フィリピンの沿岸警備隊から参加しているジェイボン・ジャバイ・

「厳しい環境に身を置いて自分自身を成長させたい」

学生の声

高校1年の終わりまではずっとクラシックバレエを習っていましたが、いわゆるスポーツとは緑遠い生活でした。それまで両親や家族に甘えて過ごしてきたので、自分自身、このまま大人になってしまっただけという気持ちが強くあり自立する道を模索していました。とにかく厳しい環境に身を置ける場所、きちんと成長し自立し、一人前になれる学校をと選んだのが海上保安大学校です。他に防衛大学校や宝塚歌劇団も考えましたが、人助けができるという点で海上保安大学校を選びました。制服も素敵ですし、憧れの気持ちが強かったというのがあります。

勉強も寮生活も厳しいです。でもここでは上級生の方が出来るまで付き合ってくれて、最後まで向き合ってくれるのでとても感謝しています。言葉使いから生活態度まで、一人前の人間を育ててくれる素晴らしい学校だと思います。仕事は厳しいとは思いますが、幸い私は体格もいいので、どうにか男性にもついていきたいと思います。現場に出れば部下も付きます。きちんと信頼関係を築き、部下から信用され、その部下を守る海上保安官になりたいと思います。



1学年 ^{かみくら ひでか} 神蔵 秀圭 (19歳)



「後輩を指導することで自分自身も成長できる1年にしたい」

学生の声

最初の1年間はどんなに嫌でも辞めないうで頑張ろうと思って入学しましたが、この1年間、とにかく必死でした。訓練の厳しさよりも寮生活での人間関係や役割などに悩みました。上級生に怒られれば落ち込みますし、自分はなんでこんなできないんだろうと精神的に辛い時もありました。必死で毎日過ごしているうちになんとか1年を乗り越えたという感じです。

今年からは1学年を指導する立場になります。これまで1年間指導いただいた感謝の気持ちも込めて、自分のことだけに精一杯にならずに丁寧に下級生を指導しなければなりません。彼らが成長する姿を見つめることで、指導する自分も成長できるような1年にしたいと思っています。

ここでは常にリーダーシップを求められますが、最初からリーダーシップを備えているわけではないし、2学年になったから急に1学年を引っ張れるわけでもなく、今はまだ試行錯誤中です。そうやって悩みながら頑張っている環境ですし、自分なりに頑張っていきたいと思っています。



2学年 藤本 菜々子 (19歳)

カリカ氏はこの課程への参加理由を「国際法や国際海洋法などを学ぶこと、そして他国のコーストガードとの関係を築くこと」と述べている。また海上保安庁職員として



2015年10月に新設され2年目を迎えた海上保安政策課程。今期はインドネシア、マレーシア、フィリピンの海上保安機関から初級幹部職員を迎えている。帰国後、それぞれの国で政策を担うことになる彼らとのネットワークが、将来の海上安全を支えていくはずだ。

「昨今の我が国を取り巻く海上の周辺国を含めての情勢を鑑みると海上保安庁への関心は極めて高くなっています。入学してくる学生の志も高い」と説明する。そ

参加している半沢優一等海上保安正は、「アジアの海上保安機関との協力関係の必要性が高まる中で、海上保安大学校を卒業して10年が経ち、自分でも何か新しいことに挑戦したいという気持ちで参加しました」と語っている。

めざましい経済成長を遂げつつあるアジア周辺諸国では、海上交通が非常に活発になっている。この地域での円滑な海上輸送は世界経済にとっても重要な課題だ。また海洋権益の争いからも目をそらすことはできない。周辺諸国の海上保安機関が国際海洋法に則った共通認識で問題解決にあたる仕組み作りが、まさに動き始めているのだ。

このような背景の中、平田友一校長は

海上保安大学校



教育方針

1. 人格の陶冶とリーダーシップの涵養
2. 高い教養と見識の修得
3. 強靱な気力・体力の育成

教育課程

| 本科 4年間 | 専攻科 6ヶ月 | 研修科 | 海上保安政策課程 |
|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 初級幹部となるべき職員として採用した者に対し、一般教養並びに海上保安業務に必要な高度な学術及び技能を教授する。 | <ul style="list-style-type: none"> 本科を卒業した職員に対し、海上保安業務に必要な専門的な学術及び技能を教授する。 練習船こじまによる遠洋航海実習を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 専攻科を修了した初級幹部職員に対し、実用英語能力、国際関係知識等の国際業務対応能力、また初級幹部として、現場赴任するにあたり必要な実務能力を習得させる(国際業務課程)。 現場第一線から選抜された職員に対し、海上保安業務に必要な専門的な学術及び技能を教授する(潜水技術課程、語学[ロシア語・中国語・韓国語]基礎課程などがある)。 | <ul style="list-style-type: none"> 海上保安政策課程は、海上保安大学校、政策研究大学院大学及び独立行政法人国際協力機構(JICA)が連携して実施する1年間の教育課程で、海上保安庁及びアジア各国の海上保安機関の初級幹部職員を対象として、国際法・国際関係についての知識を持ち、同時に海上で発生し得る種々の課題に対して適時・的確に対処できる高度な実務的・応用的知識、分析・提案能力及び国際コミュニケーション能力を有する人材を育成する。この課程を履修した職員には、修士(政策研究)が授与される。 |

本科学生のカリキュラム



の上で、平田校長が重視しているのはチームワークと思いやり、そしてあきらめない心だという。

「海上保安庁はチームワークで仕事をしています。大学生活でのチームワークはもちろんですが、現場に出たときに、いかにリーダーとしてその組織でチームワークを築いていくか。また災害救助など困難な業務に立ち向かうときに、遭難者やその家族だけでなく共に活動する仲間や部下への思いやりも忘れてはなりません。そしてあきらめないこと。目の前にいる人を救助するときなど困難に直面することもありますが、皆で一生懸命頑張れば達成できると思っています」

新たにスタートした海上保安政策課程については「まだ始まったばかりではありませんが」と前置きした上で、「この課程に参加した各国の初級幹部職員は、国に帰って政策や企画の責任者になるでしょう。法の下の管理という思想が広がることでそれぞれの国の体制整備が進み、世界の安全に繋がっていくと思いますし、このプログラムを長く継続していくことで成果は大きく花開くと信じています」と結んだ。

海上保安庁の幹部を育成し、職員専門技術を磨く海上保安大学校は今、周辺国との国際協力と連携への新たな一歩を踏み出している。最先端の知識や技術を研究、習得する場であると同時に、それらの知見を海外に惜しみなく提供しネットワークを築くことで、国際的な海の安全と安心確保に貢献していくことだろう。

呉 エトセトラ

特集では伝えきれなかった呉をここで

画像提供：海上保安大学校
(一社) 呉観光協会



海上保安資料館



海 海上保安庁創設30周年を記念して昭和55年に海上保安大学校内に建設された海上保安資料館には、退役した巡視船やヘリコプターなどの写真、現役の巡視船の模型、海上保安庁の仕事を紹介する写真パネルなど約1,000点の展示物が並んでいます。

吹き抜けに吊り下げられているのはヘリコプターからの救助シーンを再現したレプリカで、要救助者を吊り上げる特殊救難隊員の姿を間近に見ることができます。これは海上保安大学校学生のアイデアで実現したものです。

平成13年12月に発生した九州南西海域不審船事案で銃撃に遭った巡視船「あまみ」の船橋と装備品も展示されており、銃撃によって被弾した生々しい姿を見ることができます。

海上保安庁初代大久保武雄長官は、高浜虚子に師事した俳人でもありました。俳号は大久保橙青。館内には虚子と橙青の自筆の句が展示されており、また観音埼灯台には虚子の句碑も立てられています。

その他、『海猿』コーナーでは映画で実際に使用されたウェットスーツを始めパネルなどを展示。また、昭和の雰囲気を出すレトロなポスターも密かな人気を集めています。

呉地方総監部第一庁舎



明 治40年に竣工した旧呉鎮守府庁舎は地下1階、地上2階建て、延べ1,990平方メートルのレンガ石造の建築です。呉市に現存する代表的なレンガ構造物で、2階には柱頭に桜を彫刻した石柱があるなど、凝ったデザインと入念な仕上げが特徴です。毎週日曜日一般公開。

● アレイからすこじま



「アレイからすこじま」は、国内で唯一、潜水艦を間近で見ることができる公園です。海上自衛隊の潜水艦と護衛艦がイカリを下ろし、その昔、呉が海軍の本拠地だったことを偲ばせます。戦艦大和も近くのドックで極秘に建造されましたが、今は誰でも自由に散策を楽しめる公園になっています。

「アレイからすこじま」の名前の由来は、呉浦にあった「からすこじま」という小島（大正時代に魚雷発射訓練場として埋立）の名称と、英語の小道（アレイ）からきたものです。

呉のソウルフード代表は、海軍レシピを再現したという肉じゃが。奇しくも海上保安学校のある京都舞鶴市と、海上保安大学校のある呉市が、共に「肉じゃが発祥の地」として名乗りを上げています。

呉焼きは二つ折りにされているのが特徴。起源については「狭い鉄板でもたくさん焼けるように」、「家に持ち帰りやすいように」と諸説あります。

文字どおり細麺を使った細うどんは、素早く調理して素早く食べられるように麺が細くなったと言われています。



● 呉のソウルフード



● 灰が峰からの風景

呉市は『海猿』はもちろんのこと『男たちの大和/YAMATO』や『男はつらいよ』、『朝が来る』など映画やテレビドラマの舞台に数多く登場しています。最近の人気は標高737メートルの灰が峰からの景色。呉市を一望するこの風景は、中四国三大夜景にも挙げられ有名でしたが、『この世界の片隅に』の影響で最近では夜景ではなく昼間の風景に人気が集まっています。また、取材時にも市内で映画『孤狼の血』（来春公開予定）のロケが行われていました。

● 日本一短い航路船「音戸渡船」



多島海の瀬戸内。急潮と行き交う船の多さで知られる音戸の瀬戸には、片道120メートルという日本一短い定期航路があります。所要時間は約3分。時刻表はなく、一人でもお客が乗ればすぐに出港、対岸の桟橋に人が見えればすぐに迎えに来てくれます。建造から70年以上になる、長さ約9m、定員50名の木造船が、音戸の瀬戸を軽快に往来しています。

音戸の瀬戸を一日で切り開いたといわれる平清盛。人柱の代わりに一字一石の経石を海底に沈め、難工事を完成しました。この清盛塚は、その功績を讃えて1184（元暦元）年に建立されと言われています。また、昭和42年には音戸の瀬戸開削800年を記念し、音戸の瀬戸公園に立烏帽子直垂姿の平清盛像が建てられました。



● 平清盛と音戸の瀬戸



第五管区

五本部
第39回神戸港カッターレースに出場
官公庁特別対抗レースで
五本部合同チームが準優勝

5月14日



第一管区

釧路保安部
釧路海上保安部・釧路市消防本部
2機関合同訓練実施!

5月10日



第六管区

福山保安署
「JFE西日本フェスティン
ふくやま」にミニ巡視艇が登場

5月14日



第二管区

金石保安部
恋する灯台に認定の
基石埼灯台前で制服試着体験

5月4日5日



第七管区

門司保安部
六連島灯台と部埼灯台が
日本遺産構成文化財に認定

5月22日



第三管区

湘南保安署
オリンピック・パラリンピック開催地
江ノ島に湘南海上保安署新庁舎完成

3月29日



第八管区

小浜保安署
「はたらく乗り物大集合!!」で
巡視船えちぜん一般公開

5月5日



第四管区

中部基地
鬼崎海岸に再びウミガメを!
小学生474人と海浜清掃

5月16日



伏木保安部
富山湾に曇気楼出現

5月19日



奄美保安部
貝浜(げばま)海岸で
海上安全教室を開催

5月11日



宮古島保安部
本土復帰年の初代門札を庁舎内で発見
、平良保安署から宮古島保安部へ
45年の歴史、

5月16日



海上保安学校
練習船こじま世界一周の遠洋航海に出港。
大学校敷地内で藤の花が満開。旅立ちを祝う

4月28日



海上保安学校
念願の路線バスが運行開始

4月24日



海上保安学校
4月期の入学としては史上2番目となる
276人うち女性37人の入学式を挙げる

4月9日

海上保安庁 Twitter

海上保安庁では、Twitterを用いて業務や行事などの情報を発信しています。平成28年においては、

- 巡視船での体験航海に関するご案内
 - 熊本地震で被災された方々への給水・入浴に関する支援情報
 - 伊勢志摩サミット開催に伴う船舶の航行自粛に関するお知らせ
- 等の情報発信を行いました。

今後も、様々な情報を発信していきますので、ぜひフォローをお願いします！
海上保安庁ホームページでも掲載しています



INFORMATION

大切な命! 自分で守る

海上保安庁
からのお願い

マリンレジャーを安全に楽しむために、
事前に海の気象情報・安全情報を収集し、
もしもに備えて、「自己救命策確保3つの基本」
を守りましょう!

自己救命策確保3つの基本

1 海に落ちて沈まない
ライフジャケットの
常時着用



2 水中でも大丈夫
(防水バックの使用)
携帯電話の携行



3 海のもしもは……
118番の活用



新設

管制課程学生採用試験

第1次試験

■試験日
平成29年9月24日(日)
■合格発表
平成29年10月11日(水)

第2次試験

■試験日
平成29年10月17日(火)～
10月26日(木)の間で指定する一日
■合格発表
平成29年11月21日(火)

受験申込受付期間

■インターネット
平成29年7月18日(火)～7月27日(火)
■郵送又は持参
平成29年7月18日(火)～7月20日(木)



君の声が安全を届ける

管制課程とは?

船舶が安全に航行できるよう、船舶に対し無線による情報提供や法令に基づいた航行管制を行う「運用管制官」を養成する課程です。

管制課程のほか、同日に行われる海上保安学校学生採用試験(船舶運航システム課程、航空課程、情報システム課程、海洋科学課程)並びに10月28日に行われる海上保安大学校学生採用試験の内容や採用予定者数等についても、人事院及び当庁のホームページにおいて公表しています。



海上の管制官を大募集!